

地 探

旭市の伊藤忠良市長が先月中旬、市役所で総務省のアドバイザーを講師に招き、市議らを対象とした旭中央病院改革について非公開の勉強会を開催。席上、政府が今春、創設を発表した「革新的技術特区」入りを旨とし、検討委員会の設置を出席者に呼びかけ、了承されていたことが関係者の話で分かった。講師は「旭市独自」の取り組みを推奨。しかし、同市は銚子市、匝瑳市、東庄町と構成する東総地域医療連携協議会で、同病院を核とした将来像を模索中でもある。

(銚子海匠支局・井上洋)

旭中央病院改革で旭市長

講師は総務省地方営企業業経営アドバイザーで経済学博士の松山善弘氏。三年前には同病院の講演会で東総地域へのIHN(米国内で主流の広域医療圏を持つ総合ヘルスケアネットワーク)の導入を提唱。今回は「公立病院改革ガイドラインと旭市」と題して講演した。

同市は「単なる勉強会」として取材を拒否。開催について医連協の他構成市町に知らせなかった。

「IHNが一番いい」

伊藤市長は冒頭、「いま素晴らしい企画がある。政府が全国十カ所に立ち上げようとしている革新的技術特区を旭中央病院の改革に

取り入れたらどうだろうか。私は松山先生の提唱するIHNで整備するのが一番いい」と述べた。

さらに、「先生の提案される革新的技術特区を旭の整備に結び付けていくか、ぜひ議員に検討をお願いしたい。率直に言ったら旭に大きなねりがかかっている。旭中央病院を生かすことが将来発展の近道。より良い方法を考えていきたい」などあいさつ。

松山氏は講演で「民間病院の経営責任者として現場

「特区でIHN」提案

先月、非公開の市議勉強会で

を経験。自治体病院経営アドバイザーとして全国を見てきた。経営環境が変わることになった法改正問題もある。公立病院改革ガイドラインにどう対応していくか、私の考えを説明したい」として話をした。

経営リスクから解放

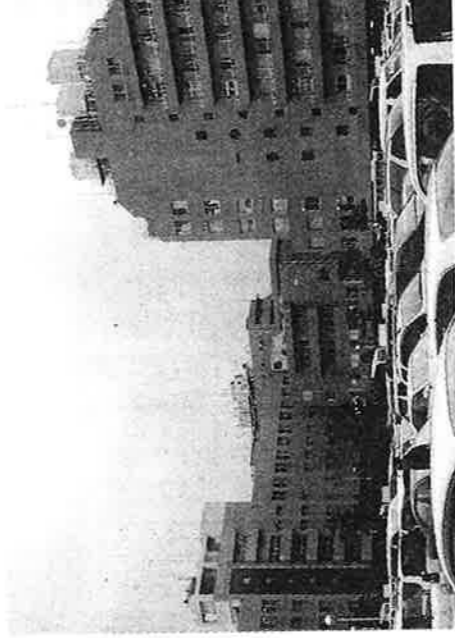
今年度から適用開始となる地方財政健全化法や公立病院改革ガイドラインにつ

いて解説。最大のリスクは人口減少だとし、「旭市を旭中央病院の経営リスクから解放する」新たな経営形態を探り、革新的技術特区と社会医療法人を活用した「解放」策を示した。

さらに今日の自治体病院が経営難に陥る原因を分析。ニーズに合わせた経営ができていないと批判。広域医療圏ごとに医療事業体をつくり、経済的な利

益を確保し、最大のリスクは人口減少だとし、「旭市を旭中央病院の経営リスクから解放する」新たな経営形態を探り、革新的技術特区と社会医療法人を活用した「解放」策を示した。

さらに今日の自治体病院が経営難に陥る原因を分析。ニーズに合わせた経営ができていないと批判。広域医療圏ごとに医療事業体をつくり、経済的な利



旭市が東総地域医療連携協議会とは別に旭中央病院を核としたIHN構築を目指すことが分かった

情しや講演などの情報がいずれも「旭市の広報」に掲載されている

千葉日報WEB
http://www.chibanippo.co.jp

メールアドレス
c-nippo@chibanippo.co.jp

佐東 銚子・海成

- 倉金 田 0476(30)1710
- 田 0476(32)5800
- 海取 0478(54)2699
- 金 0479(24)8667
- 旭 0475(55)6477
- 043(486)5945

形を受け入れていたら市のプラスになるか、ぜひ検討委員会をつくって検討したい。先生にも知恵を借りたい。先生にも知恵を借りたい。先生にも知恵を借りたい。

議会議長、執行部、三者一体の委員会をつくりたいと提案。市議からは異議なしの声が上がり、拍手が起こったという。

同病院の経営形態については合併直後から、「診療で自立しなくてはならないか」との意見が議会で度々上がっていた。再整備計画によって起債残高が膨らみ市政を圧迫する危険性も指摘されたが、市長は「創立以来黒字経営を続けている。すべて病院にお任せしている」と答えていた。

「市独自でいいものを」

質疑では「IHNは目標ではなく、人口と雇用を増やして地域をより良くする手段。旭市の中だけでできるいいものか、これは自然と

実現してほしいと、市民や関係者から参加させてくれとお願いされる。

「参加者全員同意がなしと無理。あくまで旭市独自でいいものをつくり、参加したいといってきたら入れてやればいい。スムーズに行けば、旭中央病院と同規模クラスの病院が一概にやろうと言ってくる」なども話したという。

伊藤市長は講演終了後、「この新しい特区。どんな

に、市民や関係者から参加させてくれとお願いされる。

「参加者全員同意がなしと無理。あくまで旭市独自でいいものをつくり、参加したいといってきたら入れてやればいい。スムーズに行けば、旭中央病院と同規模クラスの病院が一概にやろうと言ってくる」なども話したという。

伊藤市長は講演終了後、「この新しい特区。どんな